

■助成金の種類：スタート助成（2年目）

■助成事業名：森の恵みのものづくり事業

■団体名：岐阜木材地で木工を楽しむ会



↑「鯉節削り器づくり」の様子



↑やすりを使って、引き出しがぴったり入るように調整していた

■事業内容

・木のものづくりを通して、森の恵みを大切にすることを育んでもらうことを目的に「ミルクスツールづくり」を3回、「鯉節削り器づくり」（岐阜県産の杉を使用）を4回開催した。参加者は延べ19人。

場所：岐阜木材流通団地協同組合・組合会館

時間：午前9時～正午

対象：各務原市に在住・在勤の小学生及び未就学児親子

■事業費総額：87,692円 助成金額：29,000円

・主な経費内容：材料代及び加工代、会場使用料

■成果

- ・参加人数は少なかったが、丁寧に対応し木工の楽しさを感じてもらえた。
- ・木の特性について（杉板に釘を打つことが難しい理由など）話したりすることで、川やそれを育む森や木に対する理解が深まった。
- ・これまでは口コミで広がってきた活動が、助成金を利用しチラシを市内各所で配付したことで、参加者の年齢(特に子ども)や地域が市の西部と川島へ広がった。
- ・木のものづくりは難しいこともあるが、親子で協力することで、楽しく夢中になって作ることができた。

■団体の活動目的・目標

・木のものづくりを通して木とふれあう楽しさ、おもしろさをより多くの市民に体験してもらうこと、そしてその啓発事業を通して木材の有効利用及び森林の保護育成に寄与することを目的に活動する。